

算 数 科 学 習 指 導 案
 単元名「かけ算（２）」〔学指要領：A（３）〕
 人権教育 重点課題（２）子どもたち

令和 7 年 12 月 10 日（水） 第 5 校時 2 年 3 組教室

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解するとともに、乗法が用いられる場面を図や式で表し、乗法九九を構成し確実に唱えたり計算したりすることができる。	(削除)
思考力、判断力、表現力等	・乗法における数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見だし、乗法の計算の意味や仕方を考察し、それらを日常生活に生かすことができる。	(削除)
学びに向かう力、人間性等	・乗法について数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。	(削除)

2 評価規準

知識・技能	①乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ②交換法則等、乗法に関して成り立つ簡単な性質を図を用いて理解している。 ③乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。 ④簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知っている。
思考・判断・表現	①計算の仕方を振り返り、乗法に関し成り立つ簡単な性質を見いだしたり、それを基に乗法を構成したりしている。 ②既習の乗法やその構成の方法を基に、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えている。 ③比較量が基準量の何倍になるかを考え、説明している。 ④日常生活の問題や算数の問題について乗法を活用して解決している。
主体的に学習に取り組む態度	①累加や乗法に関して、成り立つ簡単な性質を用いるなどして乗法九九を構成しようとしている。 ②乗法の場面を身の回りから見付け、乗法を用いようとしている。 ③各段の九九を構成するときに用いた乗法の積の関係や乗法の交換法則を乗法の性質やきまりとしてまとめようとしている。

3 人権教育とのかかわり

本学級は、何事に対してもやる気いっぱい、どの教科においても粘り強く考えようという意欲をもって学習に取り組むことができる児童が多い。一方で、自分の考えに自信がもてず自ら意見を発表することに消極的な様子の児童もあり、意見を発表できる児童に偏りが見られる。

そこで、児童が共感的な態度で意見を受け止め、お互いの意見のよさを認め合い、誰もが尊重され安心して意見を発表することができる環境づくりが求められる。自分の考えを安心して相手に伝えることができる環境を整え、多様な意見を尊重しながら自分の考えを伝えることのできるコミュニケーション能力を育む必要がある。

本時では、身近な物の数を工夫して求めるために、同じ数のまとまりに着目し、かけ算を使って解決を図っていく。また、友達との意見交流を通して、同じような意見を聞き自分の考えに自信をもったり、自分とは異なる新たな考え方のよさに気付いたりすることができると思う。相槌やハンドサイン等も活用しながら意見交流することで、多様な考え方のよさや違いを理解し認め合うことができるようにしたい。

【育てたい能力・態度】

○実践力：物の数の求め方についての意見交流を通して、自分と友達の考え方の違いやよさを認め合いながら、課題解決に向かうことができる。

4 指導及び評価、ICT 活用の計画(全 15 時間:本時第 13 時)※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	・累加や乗法について成り立つ性質を用いて、6の段の九九の構成の仕方について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単元の課題 身の回りのものの数を工夫して求めるにはどうすればよいか。</div>			①
2	・交換法則や分配のきまりの考え方に触れ6の段の九九を見直す。また、6の段の九九を唱え、カード等を使って九九の練習に取り組む。	②		
3	・累加や乗法について成り立つ性質を用いて、7の段の九九の構成の仕方について考える。		①	
4	・交換法則や分配のきまりの考え方に触れ7の段の九九を見直す。また、7の段の九九を唱え、カード等を使って九九の練習に取り組む。	②		
5	・累加や乗法について成り立つ性質を用いて、8の段の九九の構成の仕方について考える。		①	
6	・交換法則や分配のきまりの考え方に触れ8の段の九九を見直す。また、8の段の九九を唱え、カード等を使って九九の練習に取り組む。	②		①
7	・累加や乗法について成り立つ性質を用いて、9の段の九九の構成の仕方について考える。		①	
8	・交換法則や分配のきまりの考え方に触れ9の段の九九を見直す。また、9の段の九九を唱え、カード等を使って九九の練習に取り組む。	②		②
9	・1の段の九九にもこれまでに見付けたきまりがあるか確かめ、1の段の九九を構成する。また九九を答えの大きい方から唱えたり、途中から唱えたりする。	① ③		
10	・九九表を見て、これまで九九の構成で用いた乗数と積の関係や乗法の交換法則についてまとめる。(a)			③
11	・九九表を基に、学習してきた性質やきまりを用いて、被乗数が2位数の乗法について答えの求め方を考える。(a)	④	②	
12	・テープの4倍の長さに色を塗り、基準とする長さによって「4倍」の長さが異なることを見いだす。		③	
13 本時	・同じ数のまとまりに着目してチョコレートの数を求める方法を考える。(a)		④	
14 15	・単元の学習に関わる練習問題に取り組み、学習状況を自己評価する。	① ④		

* 活用するコンテンツ等：(a) 教科書デジタルコンテンツ

II 本時の学習 (13/15)

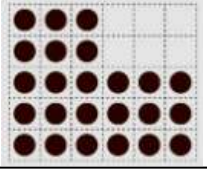
1 ねらい

同じ数のまとまりに着目してチョコレートの数を求める方法を考える活動を通して、乗法を活用して解決できるようにする。

2 人権教育の視点

実践力：多様な考え方があることを知ることを通して、それぞれの考え方のよさを尊重しながら認め合うことができる。

3 展 開

<p>主な学習活動 予想される児童の反応〔C〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分） C: $2 \times 3 = 6$ で 6こです。 $3 \times 6 = 18$ で18こです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p><問題> このチョコレートは ぜんぶで何こありますか。</p> </div>  </div> <p>C: このままだと数えにくいな。 C: 同じ数のまとまりを探してみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><めあて> かけ算をつかって、チョコレートの数をもとめる 方ほうを考えよう。</p> </div> <p>C: ちなみに答えは、24こだね。</p>	<p>○「一つ分の数×いくつ分の数」を意識できるように、既習事項を基に簡単に求められる数を扱いながら学習を進められるようにする。 ○かけ算を用いた考え方に気付けるように、数を効率よく求めるためにはどんな工夫をしたらよいか問い掛ける。</p> <p>○一つ分の数のまとまりに着目できるように、問題場面を部分的に段階を追って提示する。</p> <p>○数を求めることに集中できるように、あらかじめチョコレートの数を全体で確認する。</p>
<p>2 チョコレートの数を求める方法を考える。（15分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>工夫してチョコレートの数を求めてみましょう。 分からない人は友達の考えを聞いてみましょう。</p> </div> <p>C: 1つ分は○で、いくつ分は□かな。 C: 半分に分けて考えよう。 C: どこを分けたらいいのか、分からないな。</p> <p>～きょうりょくタイム～ C: わたしはここを一つ分にしたよ。 C: よこやたての列でもまとまりが作れそうだよ。 C: 3つのまとまりや6つのまとまりがあるね。 C: ないところもあると数えてみたよ。 C: ここの3こを動かすと、6このまとまりが作れるよ。 C: ちがう考え方もあってすごいね！</p>	<p>○一つ分の数を意識できるように同じ数のまとまりを丸で囲むように促す。 ○自力解決したり多様な考え方を見いだしたりすることができるようにヒントカードを準備しておく。 ○互いに協力して対話・交流できるように、ワークシートに自らの学習状況（ヘルプの「へ」）を表現するよう促す。 ○教師や友達に助言を求めたり、意見交流したりできるように、きょうりょくタイムを設ける。</p> <p>【3つのパターン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★一人では分からない児童（ワークシートにヘルプの「へ」を示す） ★考えがだいたいまとまり、意見交流をしたい児童（赤白帽子） ★一人で考えたい児童（個別で考える） <p>○お互いが安心して意見交流できるように、教師や友達に助言を求めるときは、どこが分からないか伝えるように促す。</p>
<p>3 チョコレートの数の求め方を説明し、それぞれの考え方のよさを話し合い、本時のまとめをする。（15分） C: 一つ分が3こと6このまとまりに分けて考えました。 $3 \times 2 = 6$ $6 \times 3 = 18$ $6 + 18 = 24$ C: 一番上の3こを動かして、一つ分が6このまとまりにしました。 $6 \times 4 = 24$ C: 一つ分が6このまとまりが5つあると数えて、あとからない分を引きました。 $6 \times 5 = 30$ $3 \times 2 = 6$ $30 - 6 = 24$</p>	<p>○友達の考えをしっかりと聞けるように、黒板の前に移動して発表を聞くよう促す。 ○互いのよさを認め合い、自分の考えと比較しながら聞けるように、ハンドサインを使って反応するように言葉掛けをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>多様な考え方があることを知ることを通して、それぞれの考え方のよさを尊重しながら認め合うことができる。【実践力】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目（思④） ワークシートの記述や発表内容から、「日常生活の問題や算数の問題を乗法を活用して解決することができたか。」を評価する。</p> </div>

4 本時のめあてに対するまとめをし、学習内容を振り返る。(10分)

○それぞれの考えの共通点を考えまとめをする。

<まとめ>

チョコレートの数は、同じ数のまとまりにちゅう目すると、かけ算でもとめることができる。

○本時の学習の振り返りを書く。

<振り返り>

C: かけ算をつかうことで、計算で数を数えることができた。つぎは、ほかのならば方のもも数えてみたい。

○乗法を使って数を求められるよさを実感できるように、それぞれの考えの共通点は何か問い掛ける。

○まとめのキーワードとなる言葉に注目できるように、板書を振り返り、児童の言葉を基に整理してまとめる。

○今後の生活において、お互いの考え方のよさを尊重し認め合うことができるように、多様な考え方を見付けたりその考え方のよさを認め合えたりしたことを称賛する。

○本時の学びを自覚することができるように、振り返りの場を設定する。